

講義名	神戸の景観と歴史			授業形態	
担当教員	藤原 喜美子	開講期・曜日・時間	前期 金曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要
この講義では、本学が位置する神戸を対象に、「街の景観と歴史」を主題として紹介する。江戸時代の幕末の開港をはるかにさかのぼる大輪田治や兵庫津、開港後の国際的な港湾都市としての役割、近代都市へ移行する神戸の歩みを取り上げたい。そして、私たちが日常的に接している神戸の風景の中に、堆積された歴史を考える視座を提供していきたい。

到達目標
学生が、講義の内容を理解した上で、自らが考える「神戸像」（神戸の魅力）について、自分の言葉で他の人に話すことができるようになる。

提出課題
講義では毎回、感想文などを記入し、小レポートとして提出してもらう。
小レポートのテーマは、講義ごとに伝える。
小レポートとは別に、講義に関連した指定のテーマについて、学期末レポートの提出を求める。
レポート課題の詳細は、別途、5月後半に、講義中の説明ならびにRYUKA portal「キャンパスクロス」の掲示を通して指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
毎回の講義で書いてもらう感想文の内容は、提出後に次の回の講義などにおいて、神戸に関わる事例として紹介する。

評価の基準
評価は、平常点（各回の感想文などを記した15回分の小レポート、60点）、学期末レポート（40点）を総合して行う。
評価の基準は、第1回の講義の時にシラバスの用紙を配付し、詳細を伝える。

履修にあたっての注意・助言他
1. 都市の未来を知ることを通して、日常的に接している神戸を見直し、受講者各自が新しい神戸像を獲得してほしい。そのためには、講義を聴くだけでなく、神戸に関する新聞記事や図書館・書店の壁土コーナーにある関連文庫にも積極的に目を通してほしい。また、講義で取り上げた神戸市内各所について、今後、また時間を改めて、見学ができるようになった時に、フィールドワークしてほしいと思う。
2. 予習や復習で調べた内容や講義中に大事だと思ふ箇所は、メモをとること。
3. 講義開始時間に着席しておくこと。
4. 講義中に私語をして、他の受講生の妨げにならないように注意すること。
5. 15回の講義の出欠管理は、各自で行うこと。

教科書
.使用しない。

参考図書
.なし。

その他
<プリント資料>
各回毎、プリント資料を配布する。
プリント資料は無くさないように保存すること。
<参考文献>
講義中に適宜紹介する。

授業計画
講義の進め方の詳細は、第1回の講義で説明する。
第1回 「神戸と景観」 神戸の景観をどのように捉えるか
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第2回 「海と造船業」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第3回 「六甲山の利用」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第4回 「神戸開港と居留地」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第5回 「北野と町並み」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第6回 「神戸と浄水場」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第7回 「兵庫港と運河」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第8回 「兵庫津と近世の廻船業」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第9回 「兵庫津と西園街道」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第10回 「兵庫と平清盛」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第11回 「長田の町並み」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第12回 「多井畑と信仰」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第13回 「雨水と海」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第14回 「有馬温泉と信仰」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。
第15回 「まとめ あなたが考える神戸像（神戸の魅力）」
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を各自で考えてみる（120分）。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、神戸の身近な事例を各自で考えてみる（120分）。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
この授業は、全学共通科目の教養科目として、上記の主題と概要、到達目標の修得を通じて、本学のディプロマ・ポリシーのうち、特に次のような人材を育成することに貢献できる。
(2) 知識を知識に転換することができる、論理的思考力を持った人材
・課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる（情報収集力）
・収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる（情報分析力）
・現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる（課題発見力）
・さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や取組みを明らかにした上で、具体化することができる（構想力）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
この講義は、板書・プリントを用いた講義の形式で進める。

実務経験の有無及び活用
実務経験あり。講義担当者は日本民俗学に関わる現地調査や文化財保護業務の実務経験を有しており、その実務経験を活用し、地域の特性を紹介しながら授業を行う。

備考
《受講生へのメッセージ》
この講義では、「神戸」に関わることは何でもテーマになる。各自が考える神戸の魅力を探さきっかけにしてもらいたい。また、書籍の中に記されていないことから魅力を発見する人も思う。今後は、実際に神戸市内を歩く機会を増やしていきたい。